

# 母が原点「平和な沖縄」

# イハ洋一

## 沖縄を二度と戦場にしない！

### その原点は亡き母の寛子さん

イハ洋一さんは、沖縄戦の激戦地、宜野湾市嘉数で生まれました。嘉数は集落の半数以上が亡くなり、イハさんのお母さんも一人の姉を除いて6人の家族を戦争で亡くしました。お母さんの家族7人の名前は「平和の礎」に刻まれています。

寛子さんは沖縄戦で従軍看護婦として駆り出され、手榴弾で自決をはかりました。幸い一命はとりとめましたが片目が傷つき視力を失いました。

イハさんも、悲惨な沖縄戦の話を聞いて育ちました。母子家庭で、母の苦勞を見て育ち、病弱な母の面倒を見ながら、大学時代は家庭教師のアルバイトで学費や生活費を捻出しました。だからこそ、「基地のない平和な沖縄」への想いを、多くの沖縄県民と共有しています。



戦後77年目の慰霊の日、礎の前で誓うイハ洋一

# 命どう宝

私たちは、沖縄から世界へ平和の声をつなげ、二度と沖縄を戦場にさせないために、核兵器の廃絶、戦争の放棄、恒久平和の確立に向け絶え間ない努力を続けてまいります。

県知事・玉城デニー



## 全ての県民に声をかけきり イハ支持を5票、10票と 広げに広げてください

## 期日前投票に行こう

参議院選挙は2回投票します

### ウチナーの声を国会へ！

■6/21 若い女性が「戦争になりそうで今の状況が怖い。伊波さんに入れます。皆さん頑張って下さい」。また、若い男性からも頑張って下さいと応援がありました。(看護大学前のスタンディングで)

■6/23 親が戦争で亡くなっている。イハ洋一さんを応援している。頑張って欲しい。子ども6名、家族、親戚にも声をかけています。(宜野座村・男性)

■6/23 沖縄の歴史や生活を長年見てきて知っているだけでなく、きちんと国会で論戦を張ってきた十分な経験と見識は、若さを誇っている相手候補者よりも、政治家としてはよほど信頼がおけると、スピーチを聞いてあらためて痛感しました。(出発式に参加された方から)